

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

VOL 14

発行者：埼玉県ペタンク協会

企画・編集：広報部（中村）

Tel・Fax：048-536-6939

omoikkirifatoj3@nexyzzb.ne.jp

「東日本ペタンク選手権大会を開催するにあたって」

秩父市長 久喜邦康



今年の7月27日（土）・28日（日）に、秩父市の荒川総合運動公園グラウンドにおいて、東日本ペタンク選手権が開催されます。

念願の全国規模の大会を誘致することが出来ましたことに、大会誘致にご尽力いただきました埼玉県ペタンク協会と秩父市ペタンク連盟には、大変感謝申し上げます。4月30日（火）には、わざわざ、私のところに埼玉県ペタンク協会会長の河部耕喜様、理事長の井上勇司様並びに秩父市ペタンク連盟会長の大山綱秀様をはじめ、双方の団体の方々にお出で頂き、大会の協力についてお話がありました。東日本ペタンク選手権大会が盛会裏に開催されますよう地元自治体として、選手の皆様が気持ちよくプレーでき、また来たいと思って頂けるようにサポートさせていただきますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

また、お話の中で、埼玉県ペタンク協会では、生涯スポーツを推進するにあたって、学校にも呼びかけ、子供たちの育成を取り組みたいとのことであります。秩父市でも生涯スポーツとしてペタンクを推奨しておりますが、どうしても年配者の健康づくりの推進に目が行きがちであります。現代は、高齢化が進む一方で、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に住む子供たちが少なく、核家族化、高齢者世帯が増え、それぞれが抱える問題も多く、社会現象となっています。昔は、家庭や地域で、自然と世代間交流が円滑に行われ、子供たちは、そこで、他人への思いやりや感謝の心など、豊かな人間性が育まれて来ました。秩父市としても、大いに参考すべきことであり、埼玉県ペタンク協会の取り組みを参考に、ペタンクを通して世代間交流を推進していきたいと存じます。



最後となりますが、秩父市は、首都圏からも近く、多様な歴史的・文化的資源と自然の景観に恵まれた風光明媚なところですので、競技他、観光地として楽しんで頂けると存じますので、大勢の皆様のお出でをお待ち申し上げます。

《 第2回秩父市長杯ペタンク大会 》

3月31日（日）に、桜の花が見頃になりつつあり小雨が心配な天気ではありましたが、秩父の観光シーズン到来を思わせる3月の最終日曜日、秩父の荒川総合運動公園多目的グラウンドにおいて、第2回秩父市長杯が行われました。



この大会は、秩父市内のペタンク愛好家を一同に集めて、ペタンク界の一大イベントにしたいという市長の願いも含まれ、チャンピオンシップを争う秩父市長杯の部に56チームがエントリーし、ペタンクの試合を楽しみ友好を深めながら優勝を目指す芝桜大会の部に、80チームがエントリーしました。埼玉県内で136チーム408人という多くの選手が集ったのは今大会が初めてだったと思います。グラウンド全体に408名の選手が広がり、試合を行っているのは壮観でした。



平坦なグラウンドではありますが、場所によって砂が多かったり少なかったり、よく走る地面かと思えば、柔ら

かくて勢いを吸収する地面であったりと以外に地面の変化の多いテランとなっていました。また、普段からグラウンドが使われているらしく微妙に足跡のへこみや荒れが残っていて、試合が進むとプールの跡も増え、トリッキーなバウンドが起り、戦略や戦術に微妙に影響を与えていました。

一日中、小雨が降りそうな天候でありながら、安定していたので、試合は順調に進み、各トーナメントで熱戦が繰り広げられました。

入賞したチームは、各自の技術もさることながら、投球のねらいを実現させるためにドネをどこにするか、相手がどう出てくるかを予測しながら、テランの状況に合わせた戦術を駆使して、勝ち上がってきたチームです。

各部での入賞者は以下の通りです。おめでとうございます。

市長杯の部

| | | | |
|------------|--------|--------|---------|
| 優勝：チャレンジャー | 2位：大沼A | 3位：片柳C | 4位：さくら草 |
| 吉澤 君代 | 堀口 三津司 | 森 輝雄 | 宮崎 公雄 |
| 関 栄 | 大埜 集市 | 吉川 静男 | 三輪 久仁彦 |
| 金井塚 清子 | 新井 文夫 | 小池 良子 | 小寺 クニミ |

芝桜大会の部

| | | | |
|--------|----------|----------|---------------|
| 優勝：大沼H | 2位：秩父諏訪F | 3位：永田町C： | |
| 浅見 宏 | 土師 幸夫 | 黒沢 未雄 | |
| 佐々木 和男 | 飯島 一男 | 福島 善雄 | |
| 森川 民義 | 吉野 光男 | 今井 信夫 | (担当；大山 文貴：中村) |

〈 ブラボー！！ 第6回さくら草杯ベタンク大会 〉

4月21日(日)に県主催で行われた60歳以上のベテラン大会「第6回さくら草杯シニアオープン大会」で、スタッフとして感じた事を話します。県事業部の皆さんは、大会ごとに数回の打ち合わせ会議を持ち、参加者に楽しんでもらう事に余念がありません。沢山の時間と労力を使い大変な部署だと、今更ながら感心しました。今回は60歳以上の大会の為、本当に楽しんで頂こうと、準備にも力が入っていたようです。しかし、そんな気持ちを逆なでするかのように、天気予報は悪天候を予想し、前日からの雨。当初のように雨天中止にしようか？でも、参加者の意向を聞くと「雨天でも頑張りたい」という声が多く、それに応えたいと思う気持ちとで、戸惑いは大きかったようです。当日は雨も途中から止むという予報だったので、決行と判断を下し、参加者への再度の連絡と雨の中の準備に追われました。

当日はキャンセル続出も、やむを得ないという覚悟で寄居会場へ行くと、続々と選手が合羽を着た姿で集まり、最終的には参加者全員が受け付けを済ませていました。「すごい！」と自然に言葉が出てしまいました。雨脚が強く、苦情も大きくなるだろうと予想をすれば、逆に各地域のリーダー達が「せっかく来たのだから、球を投げて行こうよ！」と、笑顔で仲間を元気づけていました。ありがたいと思いました。会場のコンディションはとても悪く、しばらく開会式を遅らせ、様子を見ていましたが、やはりこのままでは無理だろうと思い始めた時、本部の決断で川本会場を手配し、会場移動の伝達をしました。県会長や理事長の参加者への謝辞とお詫びの挨拶があり、その後すぐに選手達の移動が行なわれ、今度こそ、数チームは帰るだろうとの危惧も、なんと80歳以上の大先輩さえ、一人欠けることなく残っていました。この情熱！本当に頭の下がる思いでした。

【大会結果】

| 順位 | チーム名 | 選手名 | | |
|-----|----------|--------|--------|-------|
| 優勝 | 坂戸城山 A | 石川 太津男 | 泉 忠明 | 泉 恵美子 |
| 準優勝 | 文殊 | 宮城 修一 | 佐々木 久子 | 斉藤 好友 |
| 3位 | チャレンジャーS | 関 栄 | 小甲 久江 | 前田 稔 |
| 4位 | 片柳 D | 沖 忠男 | 大谷 暉允 | 林 信男 |



優勝 石川太津男 泉忠明 泉恵美子



準優勝 斉藤好友 佐々木久子 宮城修一



3位 関 栄 小甲久江 前田稔



4位 林信男 沖忠男 (残念!大谷暉允氏は先に帰られました)

ティルコンテスト

[男子]

| | |
|----|-------|
| 1位 | 関 栄 |
| 2位 | 柳澤 直利 |
| 3位 | 井上 利一 |

[女子]

| | |
|----|-------|
| 1位 | 清水 葉子 |
| 2位 | 興津 里子 |
| 3位 | 小甲 久江 |



井上 利一
関 栄
柳澤直利

小甲 久江
清水 葉子
興津 里子



功労賞 (3名)

| | | |
|-------|-------|------|
| 笠原 すい | 奈良 久子 | 森田 治 |
|-------|-------|------|



森田 治 笠原 すい 奈良 久子

【表彰状全文】
 あなたは永年にわたり
 ベタンク競技を愛好し
 明るく元気にプレーする
 姿勢は後輩のやる気を
 喚起すると共にベタンクの
 普及と発展に大きく
 寄与されました
 よって深く感謝の意を
 表しここに表彰いたします
 平成二十五年四月二十一日
 埼玉県ベタンク協会
 会長 河部 耕喜

会場を移動したにもかかわらず、無駄な時間をかけずスムーズに試合が開始され、その内に雨も上がり、スタッフにも笑顔がでました。参加選手の協力のお陰で緊張感から解放され、誰しも感謝の思いが膨らんだのは確かでした。

埼玉は土台が素晴らしい!人の痛みや苦勞を理解し、団体を支えてくれている先輩方は、自らの姿勢と優しさで、人を育てている。まだまだ未熟な私も、今回は見習うべき多くの事を得た大事な1日となりました。先輩方のように支えられる一員になれるように努力したいと感じました。そして会場にいた人たち全員で作り上げた素晴らしい大会でした。ありがとうございました。(感想;スタッフA)

《 第18回 川本オープン大会開催 》

4月28日に、第18回川本オープンベタンク大会が、川本公民館前砂利テランで行われました。天候に恵ま

れ、順調に進みました。砂利テランが嫌われたのか、他の大会と重なったのが徒になったのか、参加チームは35組と川本オープンにしては、少し寂しい大会になりましたが、県外の参加者が2/3を占め、質の高い熱戦を繰り広げました。試合結果は、次の通りです。おめでとうございます。



優勝：川本C組 今泉 利明、富田 悦生、柳澤 直利



2位：夢友クラブE 竹内 偉夫、工藤 光恵、森山 光夫



3位：江南むらさ 中村 孝、中村 敦子、木村 功



4位：みくりやB 吉永 文夫、遠藤 敏子、吉永 孝子

《 2013年ねんりんピック埼玉県予選会 》

穏やかに晴れた天候に恵まれ、5月18日(土)に、上尾市小泉にある氷川山公園特設コートで、第26回ねんりんピック埼玉県予選会を、腕に自慢のある32チームが参加して盛大に行われました。

この予選会は、代表に決まったら必ず参加するというのが条件で予選会参加者を募りました。ねんりんピックの参加規定は、「参加選手が全て60歳以上であること。チームの1人は70歳以上であること。チームの1人は女性でなければならない。70歳以上の選手と女性の選手は、常時試合に参加していなければならない。」です。まさに、生涯スポーツの祭典ですね。その埼玉県代表を以下の対戦方法で選びました。



予選会の対戦方法は、32チームを抽選によって8つのブロックに分け、4チームの予選ブロックを、リーグ戦で競いました。予選ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントの4戦を勝ち上がれば代表に決まります。11点先取、時間制限なしで行ないました。

日中、30度を超え、熱中症を心配するほどの日差しの中、32チームの熱戦が行なわれました。

準決勝の第1試合は、左写真；レッツゴー片柳(小池良子、井上利一、森田 治)

対上福岡ベタソ愛好会(福)林田利子、前田時子、上屋敷竹次郎)の対戦。追いつ追われつの試合で、終盤小池氏のブセットが点差を広げるきっかけとなり、レッツゴー片柳が11-7で決勝に進出しました。



準決勝第2試合は、右写真；チャレンジャーS(小甲久江、関 栄、前田

稔)対チャレンジ片柳(沖 忠男、山名富喜、綾部栄子)の対戦。共に、ポワンテの第1投が寄せきれずポワンテ2投目で勝ったチャレンジャーSが終始リードしながら9点まで取る。ところが、我慢しながらチャンスをつかっていたチャレンジ片柳が、徐々にペースを取り戻し、守勢に回ったチャレンジャーSの失投を逃さず、追いつき、逆転でチャレンジ片柳の11-9で勝利しました。

決勝戦は、レッツゴー片柳（小池良子、井上利一、森田 治）対チャレンジ片柳（沖 忠男、山名富喜、綾部栄子）の坂戸片柳同士の対戦となった。前半、レッツゴー片柳が先取、都立と羅列のシーソーゲームを繰り広げた。



終盤、レッツゴー片柳は1点リードしながら、決め手を欠いて、投げきる形を作って守勢に回り、最後に逆転でチャレンジ片柳が11 - 9で勝利した。

終わってみれば、チャレンジ片柳は、2013年の全国シニア大会を制したチーム。ベテランのチームにも実力者が多いと実感しました。

平成25年度の埼玉県ねんりんピック代表内定は、チャレンジ片柳；山名富喜、沖 忠男、綾部栄子 組でした。おめでとうございます。埼玉県協会から代表者に援助金が授与されました。次点の2位は、レッツゴー片柳；森田 治、

小池良子、井上利一 組でした。3位は、上福岡ペタンククラブB（福）；上屋敷竹次郎、前田時子、林田利子 組でした。

なお、ねんりんピックの代表では、チームの1人でも参加できない場合は、権利は失われ、出場権は次点のチームに移ります。2位、3位は、1位のチームが出られなくなったときの補欠として、しっかり健康管理とスキルアップを行って、チャンスを待っていてください。4人登録ができるため、次点のチーム等から後日選考される予定です。

優勝者のコメントを頂きました。

沖 忠男（ポワントゥール）

先日は、応援ありがとうございました。おかげさまで、良きパートナーに恵まれ勝ち上がることができました。が、県代表ということで、重責を感じております。本戦までさらに練習を重ねて、頑張りたいと思っていますので、応援のほどよろしくお願いします。



代表となったチャレンジ片柳

綾部栄子（ティールール）

3位決定戦

5月18日に行われたねんりんピック予選会で優勝して、思わぬ結果に喜びを感じています。山名さんと沖さんと共に参加し、助けられ、苦戦しながらも、やっと勝つことができました。今後も10月の全国大会に向け、チームワークと技術を少しでも上げることができるよう、また、埼玉県代表として自覚し、努力していきたいです。日頃皆様にいろいろ教わり、お力添えをいただき、これまで選手として成長できたことを心より感謝申し上げます。

戦いを終えて 山名富喜（ミリユー）

やったあ！超うれしい！6年目の悲願であったねんりんピック出場権を獲得することができました。チーム、片柳の仲間、体調を気遣って頂いた方々、最後まで励まし応援してくださった方々に感謝します。ありがとうございました。でも、これからが戦いだと思っています。全国大会までの時間を精進しますので、皆様の一層のご指導お願いします。最後の投球まであきらめない気持ちを持ちながら臨みます。



ねんりんピック埼玉県予選を最後まで観戦して頂いた、森さんに感想を寄稿して頂きました。

ねんりんピック埼玉県予選の決勝は我が片柳チーム同士の対戦となった。一方は、先の相模原で行われた全日本シニア選手権を制した沖・山名・綾部各氏の実力者チーム。もう一方は、片柳の最長老・森田氏率いる井上・小池各氏の何れも70歳を超えるが気鋭のチーム。観戦する人達の声援は、その愛すべき独特のキャラクターの持ち主・森田氏を擁する、平均年齢でも上回る気鋭のチームにやや偏りがある雰囲気の中、試合は始まり、進化した。森田チームが先行し沖チームが追いつき追い越し、森田チームが追いつく白熱した試合が展開され、観戦する我々も大いにエキサイトしてしまった。途中、森田チームが寄せたブルを山名氏が座位からのハイボールでラッフル気味に弾きカロし、更に森田氏がピュット斜め前のブルを利用して、その間にねじ込むというスーパープレーの応酬があり、そのプレーに対し、対戦者の山名氏が森田氏に称賛の握手を求めるといった心温まるシーンも見せて貰った。試合は9対9の同点から沖チームが2点を取り勝利したが、どちらが勝ってもおかしくない好試合だった。沖チームの皆さんおめでとう。秋に室戸市で開催される全国大会は、頑張ってください。

片柳ペタンク同好会 森 輝雄

事業部の皆さん、地元上尾の皆さん、準備と運営ありがとうございました。

後日行なわれた会議によって、正式に埼玉県代表は、チャレンジ片柳の山名富喜さん、沖 忠男さん、綾部栄子さんとスーパーサブとして小池良子さんの4人に決定致しました。今後の精進で、是非ねりんピックの優勝を勝ち取ってきてください。
(担当文責：中村)

《 第3回坂戸カップ 》



山々組は当日一番乗りだったそうです。

真夏を思わせるような強い日差しと暑さの中、5月12日の日曜日に、第3回坂戸カップが開催されました。前日の雨で、テランの状況が心配されましたが、水の引きがよくて、水溜りがなく、快適な状況で行なうことができました。坂戸の皆さんの心がけの成果だと思いました。前日の雨で準備は12日当日になったはず、早起きして作ってくれた皆さんに感謝します。

参加チームは、男子52チーム、女子40チームでした。恒例の登録トップ賞は、熊谷ピンクレディ；佐々木久子さん、中村敦子さん組。遠方より参加賞は、甲斐の山々；小澤一男さん、菊嶋建志さん組でした。甲斐の



予選は、4チームリーグ戦、時間制限40分で11点先取で行なわれました。決勝トーナメントは、カドラージュ戦も含めて5試合行なって優勝になります。カドラージュの決勝一回戦敗退者はお楽しみリーグに回り、また、決勝2回戦の敗退チームは交流戦ができるように工夫されています。



男子決勝戦は、3連覇をねらう小成さん率いる「チームY・K」；山沢宣行、小成裕之組、埼玉県の威信をかけて戦う井上理事長率いる「居酒屋」；井上勇司、高鳥宣正組。結果は、11対3で、居酒屋

が初優勝。得点は一方的でしたが、見事な寄せとティールが随所に見られ、これぞベタンクの試合と、目を見張る内容でした。決勝戦の観戦者は参考になることが多かったように見えました。



女子決勝戦は、全国に名を知られている東京の優「ドットコム」；佐藤幸子、前原久美組。今年度絶好調の埼玉女子代表となった「N・Y レディース」；根岸照子、吉澤君代組。1メーヌにNYレディースが1点ともぎ取るも、その後は、寄せると佐藤さんのティールではじき、さらに寄せるとまた

はじかれ、防御しても隙間をかいくぐり前原さんの寄せやプセットが決まるとい展開が続き、11対1と一方的な得点差になってしまいました。しかし、男子同様に、テランの状況を見て、投球の度に戦術を考え、丁寧に攻めていっ



た両チームの姿勢は、観戦者に参考になったと思います。そして、ドットコムの方の戦い方を崩さない姿勢は、立派でした。そういう姿勢が、3球連続ティールして3球とも当てたり、30cmの内側に寄せたりと、観客をうならせる結果を生んだのだと思いました。

入賞者は、以下のチームです。おめでとうございます。

男子の部 優勝； 居酒屋 2位； チームY・K 女子の部 優勝； ドットコム 2位； N・Yレディース
井上勇司、高鳥宣正 組 山沢宣行、小成裕之 組 佐藤幸子、前原久美組 根岸照子、吉澤君代組



3位； 文無し
山田広幸、富田悦男組



3位 スバルB
岡部 弘、落合幸矢組



3位； スナックKK
今泉君子、清水恭子組



3位； スナックMM
井上まち子、渡部真由美組



《埼玉県ペタンク協会審判部紹介》

審判部の活動は、競技規則の普及のための競技規則講習会、県主催の大会へ審判員の派遣及び審判員の養成、向上が目的の基本です。ペタンクをもっともっと楽しんで貰うため競技規則を軸にサービスを協会員、ペタンク愛好者に提供していこうと思います。部員はA、B、C級審判員の12名がおります。

柳澤直利(部長・A級): 楽しく面白く解りやすい講習会を目指しています。

今泉利明(副部長・A級): 審判部主催の競技規則講習会に参加された皆様、大変お疲れ様でした。お蔭様で規則講習会も15回程開催し、延400人以上の方の参加を頂きました。初心者からベテランの方まで毎回終始熱心な討議に感謝しております。楽しいペタンクは、正しい競技規則やマナーを覚えることから始まります。

今後より一層楽しくて健康的なペタンクを目指し、沢山の仲間を増やして参りたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

中西明夫(部員・暫定B級): 私が、公認審判員資格の認定を受けたのは、NPO法人日本ペタンク・ブル連合(JPBU)に所属していた平成19年8月のことでした。

以後、年2、3回の審判員を務めています、当初はただ計測判定だけをこなしていたものです。しかし、近年は県協会審判部会の充実により、大会運営における審判員の役割、責務、心がけ等を講師や多くの仲間と勉強することができ、以前とは違う心構えが必要だと実感しています。

また、審判員は規則を杓子定規に振りかざすのではなく、大会そのものの主旨、選手自身の経験・レベルに応じた判定も必要と考えます。要は、規則を守ることにより、ペタンクを楽しみ、ペタンク人口を増やし、健康で明るい社会を創ることに努力していきたい。

興津量(部員・暫定B級): ねんりんピック県委員会事務局担当になりました。

河部耕喜(部員・C級): 会長を兼務しています。



前田稔(部員・C級): ペタンクを始めて5年目に、C級審判員の資格を取得して以来、プールを投げたい気持ちを押さえつつ、全日本選手権大会の補助審判員を唯一の慰めとして、毎年、平均4回の審判員を務め、合間に、ペタンク投球術の進歩がないことを反省しつつ、毎月のように、大会参加をし、ペタンクとは?と老いの目立つ頭脳で考える日々を過ごす幸せを噛み締めつつ、競技規則を、もっと柔軟に解釈できないかと、ひとり悩むことも。古希を過ぎての夢として、1日も早く、B級・A級の資格を取得し、ハイレベルの大会の審判長を務めたい、審判員定年制になる前に。



斉藤好友(部員・C級): 黒田ペタンククラブの斉藤です。指導部、審判部に属しています。資格はC級審判員です。ほとんど毎月試合があり、参加しています。

林亮二(部員・C級): 何十年振りかのペーパーテストを受け、審判員の資格を取得し約4年半程過ぎたが、現在はルールブックもほとんど開く事も無く、雑務に追われ、練習もしておらず試合の時どうしようかと思悩んでいる状態です。今年の8月で70才を迎え古希と成りますが、ペタンクも古希に近づけられる様にがんばろう!

牛嶋英康(部員・C級): 坂戸片柳ペタンククラブで活動しています。

宮崎公雄(部員・C級): ゲーム前の挨拶とボールの確認が大切なのではないか。競技規則を読むと理解できるようになりましたが、すぐ忘れゲームに生かせない。

樋口紀典(部員・C級): 上尾ペタンク倶楽部で活動しています。

今井幸治(部員・C級): 「毎日、ペタンク三昧」5:30~6:30朝練習。8:30~昼まで大沼クラブの仲間とのゲーム練習。13:00~15:00上町、又は陽野クラブに出張練習16:00~17:30大沼テランで個人練習、時々妻とゲーム、毎日が楽しくてたまらない。ペタンクは素晴らしい。



《 審判部からのお知らせ 》

平成25年度の審判部事業・・・年4回の「審判・ルール勉強会」を開きます。審判部員の方は是非参加して下さい。

第1回 H25年 6月29日(土)川本公民館

第2回 H25年 8月 3日(土)場所未定

第3回 H25年 11月 9日(土)場所未定

第4回 H26年 2月22日(土)場所未定

対象者 - 審判力をアップしたい人、競技規則を勉強したい人、疑問のある人また、距離の測定方法を習得したい人。どなたでも歓迎いたします。昨年度の「審判セミナー」の第5回目に行なった模擬試験の返却と解説を行なう予定です。また、試験を受けられなかった方の試験も可能です。参加費は無料です。

規則講習会の要請があれば行います。各団体のペタンクの質の向上を図るためにもご活用ください。

連絡先は 審判部長 柳澤 までお願いします。電話 048-577-3613

Eメール nao8730-oz@fork.ocn.ne.jp

【埼玉県ペタンク協会:広報部紹介】

広報部員 中村 孝(部長) 面倒くさがり屋の私が、定期的に応報誌を出すなんて、ムシの「叫び」ですね。

泉 忠明(副部長) 別名、キリスト様

語学とワードの編集力に長けた部の御意見番。

大山 綱秀(部員)

秩父地域担当部員。秩父のことならすべてお任せ。

綾部 栄子(部員)

選手会担当。ずっこける言動で癒しも担当。

泉 恵美子(部員)

会計。いつもにここに、惜しまず協力。西部地域担当。

塩田 邦彦(部員)

西部地域担当。特に坂戸。やるときはやります!

雨宮 則雄(部員)

東部地域担当。ペタンクでは経験豊富、何でも聞いて!

広報部は、良い広報誌を目指して、今後も取材し、工夫して誌面を楽しめるものにしていきます。